

## 輸出入, 移出入の概要

茨城県における産業, 経済の海の玄関として大きな働きを担っている, 日立港と鹿島港の昭和61年の輸出入(外国貿易), 移出入(内国貿易)についてみると概要は次のとおりです。

### 〔日立港〕

#### 1. 船舶概況

昭和61年の入港船舶は1,650隻, 総トン数は2,559,728トンであり, 前年に比べ入港船舶は39隻減となったが, 総トン数は265,090トン増加して, 初めて250万トン台になった。内訳をみると外航船が169隻, 1,618,063トンとなり, 前年より27隻, 397,325トンとそれぞれ増加した。しかし, 内航船は1,481隻, 981,665トンとなり, 前年に比べ66隻, 132,235トンとそれぞれ減少している。入港船舶が減少したにもかかわらず総トン数が増加したことは, 船舶が大型化していることを示している。

また, 外航船, 内航船の比率をみると, 船舶数では内航船が約9割を占めているのに対し, 総トン数では外航船が6割を占めており, 外航船が特に大型であることを表わしている。

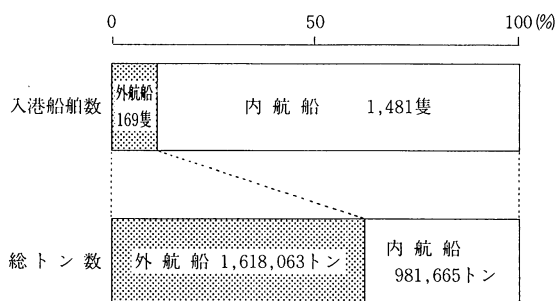
外航船を国籍別にみても主要なものは, 表一2のとおりであり, パナマとソ連国籍の船舶が特に多い。

#### 2. 貨物概況

昭和61年の取扱貨物量は2,166,685トンで前年をわずかに下回った。貨物構成をみると, 全体の4分の3が内国貿易貨物で占められ, さらに, 内国貿易貨物の9割が移入貨物である。また, 外国貿易貨物についても95%が輸入貨物であることから, 輸移入の比率の高い港であるといえる。

外国貿易貨物の輸出貨物は24,602トンであり,

図一 入港船舶数及び総トン数



表一 入港船舶年次表

(単位: 隻, トン, %)

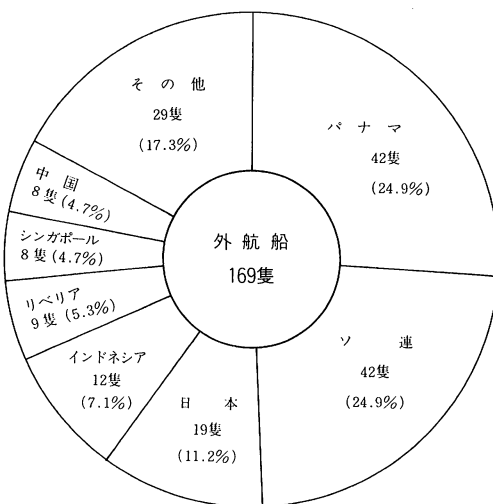
区 分	合 計			外 航 船			内 航 船		
	隻 数	総トン数	平 均 総トン数	隻 数	総トン数	平 均 総トン数	隻 数	総トン数	平 均 総トン数
昭和57年	1 567	2 243 123	1 431	160	1 351 273	8 445	1 407	891 850	634
58	1 499	2 055 929	1 371	145	1 200 478	8 279	1 354	855 451	632
59	1 720	2 165 801	1 259	157	1 141 867	7 273	1 563	1 023 934	655
60	1 689	2 334 638	1 382	142	1 220 738	8 596	1 547	1 113 900	720
61	1 650	2 599 728	1 575	169	1 618 063	9 574	1 481	981 665	663
(前年比)	97.7	111.4	—	119.0	132.5	—	95.7	88.1	—
(構成比)	100.0	100.0	—	10.2	62.2	—	89.8	37.8	—

県では、統計課以外でもそれぞれに必要な統計を作成しております。今回は、指定統計になっている「港湾調査」についてご紹介します。

表一 外航船主要国籍調 (単位：隻, トン, %)

国 籍	隻 数	構成比	総トン数	構成比
外航船合計	169	100.0	1 618 063	100.0
パ ナ マ	42	24.9	392 602	24.3
ソ 連	42	24.9	189 040	11.7
日 本	19	11.2	239 366	14.8
インドネシア	12	7.1	172 555	10.7
リベリア	9	5.3	143 031	8.8
シンガポール	8	4.7	92 725	5.7
中 国	8	4.7	37 395	2.3
そ の 他	29	17.3	351 449	21.7

図一 外航船の国籍別隻数



表一 海上出入貨物対前年比較表

(単位：トン, %)

区 分	合 計	外 国 貿 易			内 国 貿 易		
		計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
昭和60年	2 211 714	485 160	23 402	461 758	1 726 554	113 630	1 612 924
61	2 166 685	522 737	24 602	498 135	1 643 948	99 767	1 544 181
(前年比)	98.0	107.7	105.1	107.9	95.2	87.8	95.7
(構成比)	100.0	24.1	1.1	23.0	75.9	4.6	71.3

前年に比べ5.1%の伸びを示した。主要品種別にみると、その他機械(産業機械、電気機械)、非鉄金属(電線ケーブル)、輸送機械(鉄道車両)の取扱い量がそれぞれ減少したが、新たに開設された航路(東南アジア航路)により、紙・パルプ、動植物性製造飼料などの輸出貨物が増加したことにより、全体としては増加を示したわけである。

輸入貨物は498,135トンで、前年に比べ7.9%の伸びを示した。主要品種別にみると、石炭と非金属鉱物(タルク)の伸びが特に大きい。(表一 4)

内国貿易貨物は、1,643,948トンであり、前年に比べて△4.8%減少した。移出貨物は99,767トン(内貨物の6.1%)、移入貨物は1,544,181トン(同93.9%)である。移出貨物を品種別にみると、鉄鋼、その他化学工業品など増加した品種が多かったが、その他窯業品、化学肥料など大きく減少したため、全体として△12.2%の減少となった。

また、移入貨物はほとんどの品種が前年より減少しているが、化学肥料、その他化学工業品は大幅な増加を示している。しかし、全体では前年より△4.3%減少となっている。

表-4 外国貿易貨物主要品種別表

(単位：トン，%)

順位	輸 出			輸 入				
	品 種	貨物量	前年比	構成比	品 種	貨物量	前年比	構成比
	輸 出 計	24 602	105.1	100.0	輸 入 計	489 135	107.9	100.0
1	そ の 他 機 械	14 901	94.6	60.6	原 木	351 840	99.5	70.6
2	非 鉄 金 属	3 523	59.2	14.3	石 炭	90 288	165.6	18.1
3	紙 ・ パ ル プ	2 942	—	12.0	非 金 属 鉱 物	43 017	126.2	8.6
4	輸 送 機 械	1 276	74.7	5.2	そ の 他 木 材	12 748	65.7	2.6
5	動植物性製造飼肥料	1 240	—	5.0	砂 利，砂，石 材	80	—	0
6	そ の 他	720	—	2.9	そ の 他	162	—	0.1

図-3 品種別輸出貨物

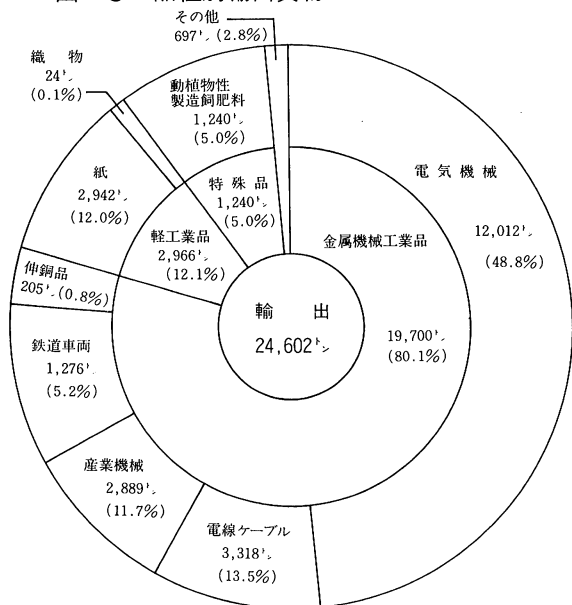


図-5 品種別輸入貨物

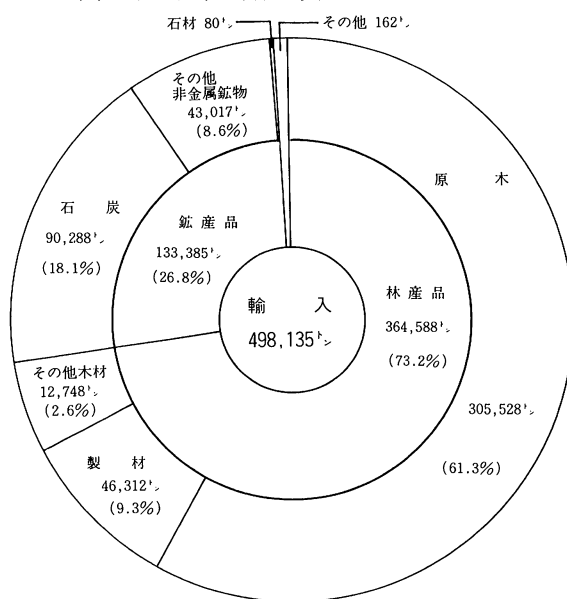


図-4 金属機械工業品の輸出相手国

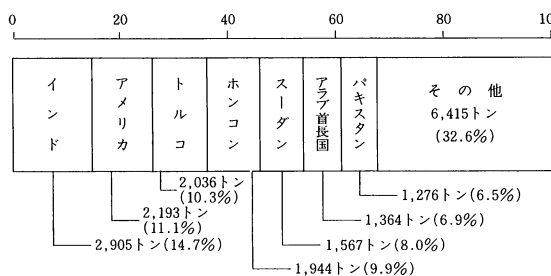
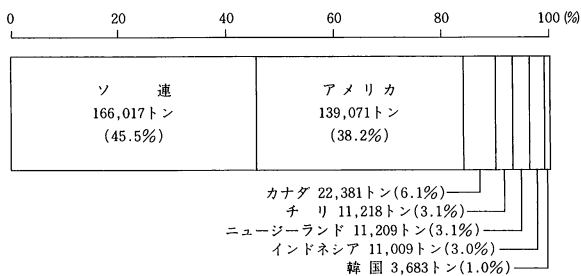


図-6 林産品の輸入相手国



表一五 内国貿易貨物主要品種別表

(単位：トン、%)

順位	移 出			移 入				
	品 種	貨物量	前年比	構成比	品 種	貨物量	前年比	構成比
	移 出 計	99 767	87.8	100.0	移 入 計	1 544 181	95.7	100.0
1	そ の 他 機 械	23 128	86.2	23.2	石 油 製 品	985 074	98.4	63.8
2	金 属 く ず	18 129	106.5	18.2	重	251 367	92.4	16.3
3	砂 糖	8 529	93.2	8.5	非 鉄 金 属	90 774	82.8	5.9
4	その他化学工業品	8 509	163.9	8.5	鉄	52 779	69.9	3.4
5	非 鉄 金 属	8 159	110.3	8.2	非 金 属 鉱 物	38 391	97.9	2.5
6	そ の 他 窯 業 品	5 797	51.5	5.8	野 菜 ・ 果 物	27 491	95.4	1.8
7	鉄 鋼	4 275	233.9	4.3	化 学 肥 料	18 591	550.0	1.2
8	化 学 肥 料	4 107	67.3	4.1	砂	12 361	92.5	0.8
9	米 ・ 雑 穀 ・ 豆	3 088	125.2	3.1	そ の 他 化 学 工 業 品	12 286	222.9	0.8
10	石 灰	2 514	110.0	2.5	石 炭	9 940	44.8	0.6
	そ の 他	13 532	—	13.6	そ の 他	45 127	—	2.9

3. 外国貿易貨物

外国貿易貨物の相手国と主要品種についてみると、次のようである。

まず、輸出貨物は24,602トンで相手国としてはアジア地域が多く、貨物量の64%を占めている。品種別では、電気機械が12,012トンと48%を占め、電気ケーブル(3,318トン)、紙(2,942トン)、産業

機械(2,889トン)とつづく。

輸入貨物は498,135トンで、その73%は原木、製材、その他木材が占めている。相手国では、ソ連、アメリカが群をぬいて多く、カナダ、チリ、ニュージーランドなどつづく。次に多い品種は石炭、その他非金属鉱物となっており、以上の5品種で全体の99%を占めている。

表一六 外国貿易貨物主要国別表

(単位：トン、%)

順位	輸 出		輸 入			
	仕 向 国	貨 物 量	構 成 比	仕 出 国	貨 物 量	構 成 比
	計	24 602	100.0	計	498 135	100.0
1	ホ ン コ ン	4 105	16.7	ソ 連	202 174	40.6
2	イ ン ド	2 905	11.8	ア メ リ カ	139 071	27.9
3	台 湾	2 277	9.3	中 国	65 647	13.2
4	ア メ リ カ	2 193	8.9	オーストラリア	31 501	6.3
5	ト ル コ	2 036	8.3	カ ナ ダ	22 381	4.5
6	ス ー ダ ン	1 567	6.4	チ リ	11 218	2.3
7	シンガポール	1 478	6.0	ニュージーランド	11 209	2.2
8	アラブ首長国	1 364	5.5	インドネシア	11 009	2.2
9	パキスタン	1 276	5.2	韓 国	3 817	0.8
10	ビ ル マ	1 220	5.0	台 湾	108	0.0
	そ の 他	4 181	16.9	—	—	—

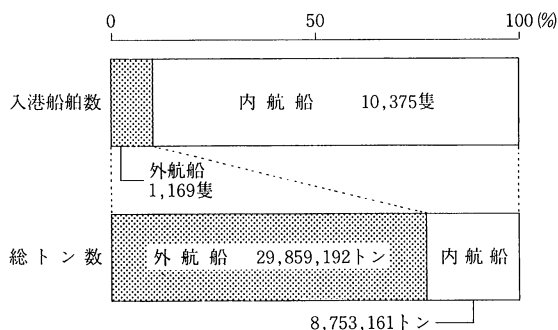
〔鹿島港〕

1. 船舶概況

昭和61年の入港船舶は11,544隻、総トン数は38,612,353トンであり、前年に比べ入港船舶は2.9%、総トン数が0.2%とそれぞれ増加した。外航船、内航船に分けて動きをみると、外航船は1,169隻、29,859,192トンとなり、前年に比べ船舶(8.2%増)、総トン数(1.9%増)ともに増加した。内航船は10,375隻(前年比2.3%増)、総トン数8,753,161トン(同△5.1%減)となり、隻数は増加したが総トン数では減少する現象がみられた。そこで平均総トン数をみると、外航船、内航船とも大きく下がっており、いままでより小型化していることを示している。

また、外航船、内航船の比率をみると、外航船は隻数ではわずかに10%であるが、総トン数の77%を占めており、いかに外航船が大型であることを示している。61年に入港した最大船舶は、総トン数139,347トンのブラジル国籍のJOSE BONIFACIOである。この船舶は、61年までに鹿島港に入港し

図一 入港船舶数及び総トン数



た船舶の中で第2番目の大きさである。

外航船を国籍別にみると、主な国は表—2のとおりであり、パナマと日本国籍が多く2国を合わせると約5割を占める。

2. 貨物概況

昭和61年の取扱貨物量は44,405,820トンで前年より2.3%増加した。内訳をみると、輸出、輸入、移出が増加し、移入だけ減少した。

貨物構成をみると、外国貿易63.9%、内国貿易36.1%と外国貿易貨物のほうが高いウエイトを占めている。また、輪移出貨物と輪移入貨物の比率

表一 入港船舶年次表

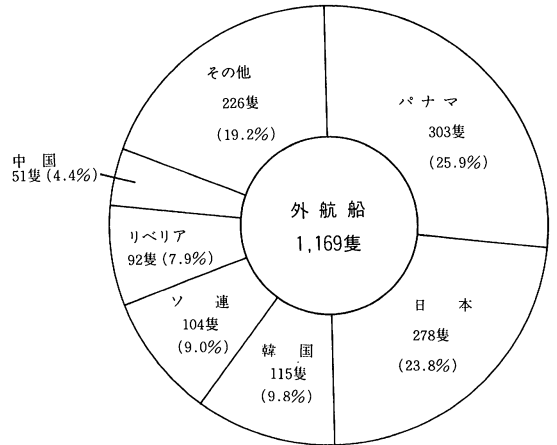
(単位：隻、総トン、%)

区分	合計			外航船			内航船		
	隻数	総トン数	平均総トン数	隻数	総トン数	平均総トン数	隻数	総トン数	平均総トン数
昭和57年	11 670	36 925 657	3 164	1 034	27 634 183	26 726	10 637	9 291 474	874
58	11 250	37 802 124	3 360	1 127	28 828 414	25 580	10 123	8 973 710	886
59	11 413	38 225 705	3 349	1 114	29 154 332	26 171	10 299	9 086 639	882
60	11 220	38 534 336	3 434	1 080	29 306 666	27 136	10 140	9 227 670	910
61	11 544	38 612 353	3 345	1 169	29 859 192	25 542	10 375	8 753 161	844
(前年比)	102.9	100.2	—	108.2	101.9	—	102.3	94.9	—
(構成比)	100.0	100.0	—	10.1	77.3	—	89.9	22.7	—

表一 2 外航船主要国籍調 (単位:隻,%,総トン)

国 籍	隻 数	構成比	総トン数	構成比
外航船合計	1 169	100.0	29 859 192	100.0
パ ナ マ	303	25.9	3 072 691	10.3
日 本	278	23.8	14 802 232	49.6
韓 国	115	9.8	328 079	1.1
ソ 連	104	8.9	1 109 310	3.7
リベリア	92	7.9	3 018 253	10.1
そ の 他	277	23.7	7 528 627	25.2

図一 2 外航船の国籍別隻数

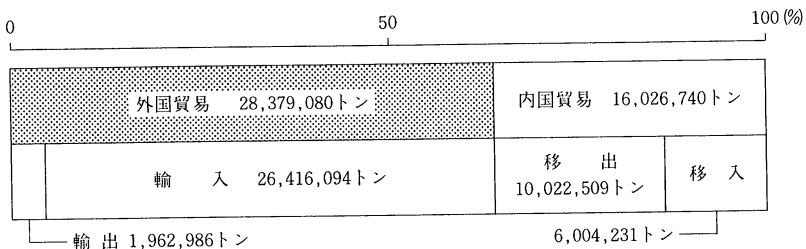


表一 3 海上出入貨物対前年比較表

(単位:トン,%)

区 分	合 計	外 国 貿 易			内 国 貿 易		
		計	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入
昭和60年	43 396 672	27 597 378	1 797 278	25 800 100	15 799 294	9 511 309	6 287 985
61	44 405 820	28 379 080	1 962 986	26 416 094	16 026 740	10 022 509	6 004 231
(前年比)	102.3	102.8	109.2	102.3	101.4	105.4	95.5
(構成比)	100.0	63.9	4.4	59.5	36.1	22.6	13.5

総取扱貨物構成 (昭和61年)



をみてみると、輸移出貨物27%、輸移入貨物が73%となり、輸移入の割合が高いことがわかる。

しかし、内国貿易の移出貨物、移入貨物についてみると、移出貨物62.5%、移入貨物37.5%となり、外国から輸入、内国へ移出という貨物の流れを作っているようである。

外国貿易貨物は、輸出貨物が1,962,986トンとなり、前年に比べ9.2%増加した。品種別にみると、鉄鋼、化学薬品などウエイトの高い品種が増加した。

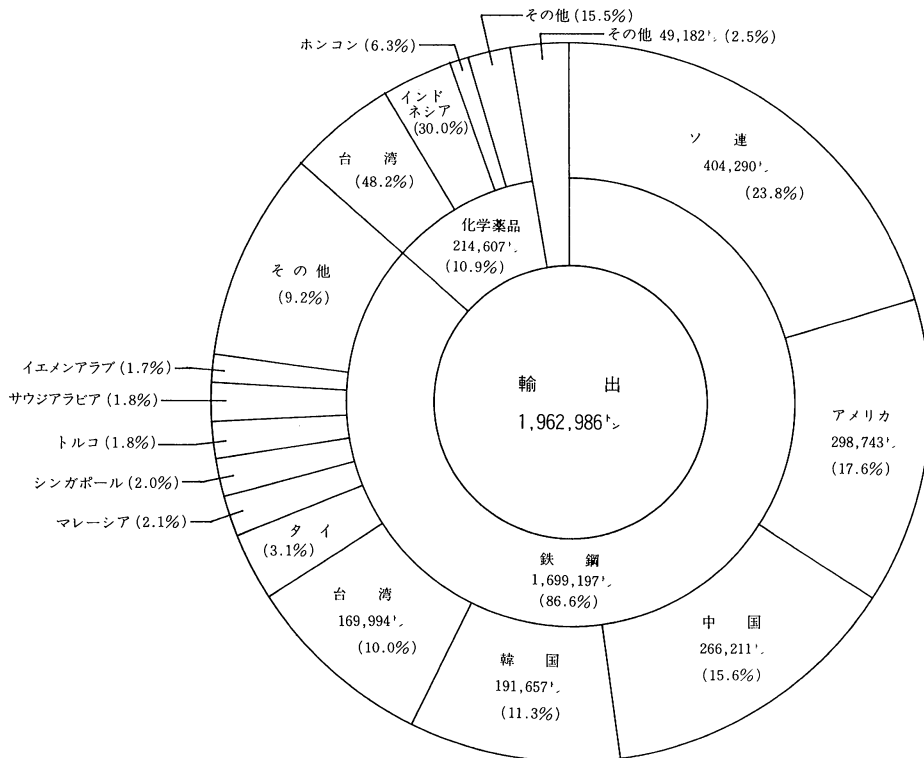
輸入貨物は、26,416,094トンで前年より2.3%増加し、外国貿易貨物の93.1%、全体の59.5%を占

表—4 外国貿易貨物主要品種別表

(単位：千トン，%)

順位	輸 出				輸 入			
	品 種	貨物量	前年比	構成比	品 種	貨物量	前年比	構成比
	輸 出 計	1 963	109	100.0	輸 入 計	26 416	102	100.0
1	鉄 鋼	1 699	107	86.6	鉄 鉱 石	9 911	102	37.5
2	化 学 薬 品	215	121	10.9	原 油	6 029	104	22.8
3	染料, 塗料, 合成樹脂 その他化学工業品	43	188	2.2	石 炭	5 244	102	19.9
4	金 属 く ず	4	—	0.2	米, 雑 穀, 豆	1 756	100	6.6
5	水 産 品	2	81	0.1	石 油 製 品	1 416	110	5.5
6	—	—	—	—	原 塩	628	96	2.4
7	—	—	—	—	重 油	570	95	2.2
8	—	—	—	—	砂利, 砂, 石材等	238	275	0.9
9	—	—	—	—	そ の 他 金 属 鉱	144	86	0.5
10	—	—	—	—	そ の 他 農 産 品	107	52	0.4
	—	—	—	—	そ の 他	373	138	1.3

図—3 品種別, 国別図 (輸出)



めている。品種別にみると、鉄鉱石、原油、石炭などが前年より増加し、この3品種で輸入貨物の80.2%を占めている。

内国貿易貨物は、16,026,740トンで移出貨物が10,022,509トン(前年比5.4%増)、移入貨物が6,004,231トン(前年比△4.5%減)となり前年より1.4%増加した。移出貨物を品種別にみると石油製品、重油、砂利・砂・石材等が増加した。しかし、鉄鋼、化学薬品などが減少したため増加は5.4%にとどまった。また、鉄鋼、石油製品の2品種で移出貨物の58.1%を占めている。

移入貨物は、石油製品、その他非金属鉱物などが増加したが、重油、鉄鋼、石炭などの主要品種が減少したため、前年より△4.5%減少した。

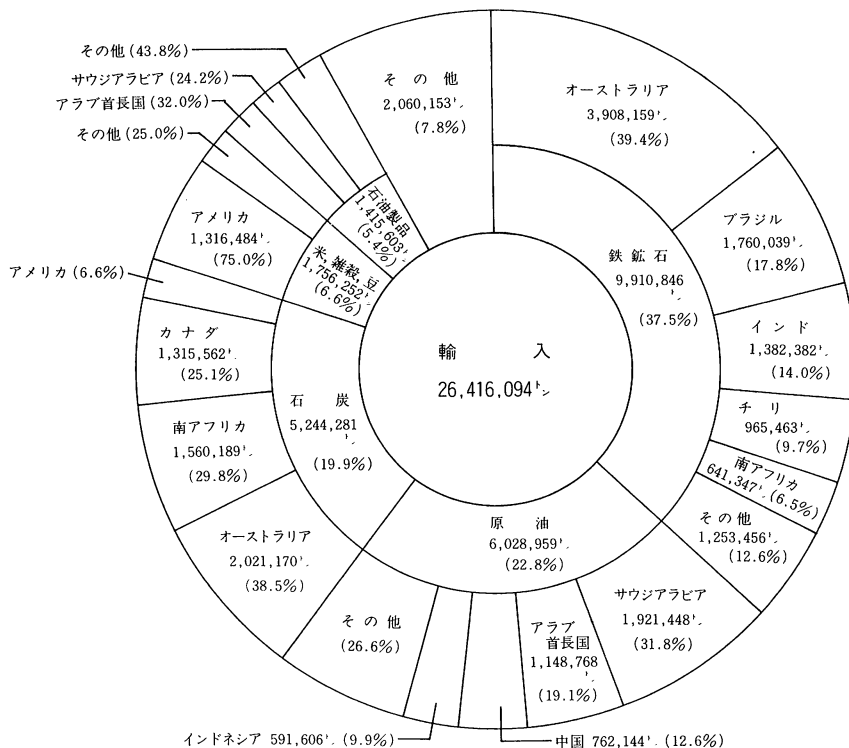
また、内国貿易貨物を県別にみると、移出貨物は北海道が大きく増加し、他の県も増加しているところが多い。移入貨物は青森県、三重県、兵庫県で増加した他は、主要県は軒並み減少している。

### 3. 外国貿易貨物

外国貿易貨物は、相手国56カ国、217港にのぼり、取扱量28,379,080トンである。主要な相手国、品種についてみると次のようになる。

輸出貨物は1,962,986トンで、鉄鋼が86.6%、化学薬品10.9%と2品種で97.5%を占めてしまう。相手国としては、ソ連(404,290トン)が最も多く、次いで中国、アメリカ、台湾、韓国とつづいている。アジア地域への輸出量は55.1%となっている。

図一四 品種別、国別図(輸入)

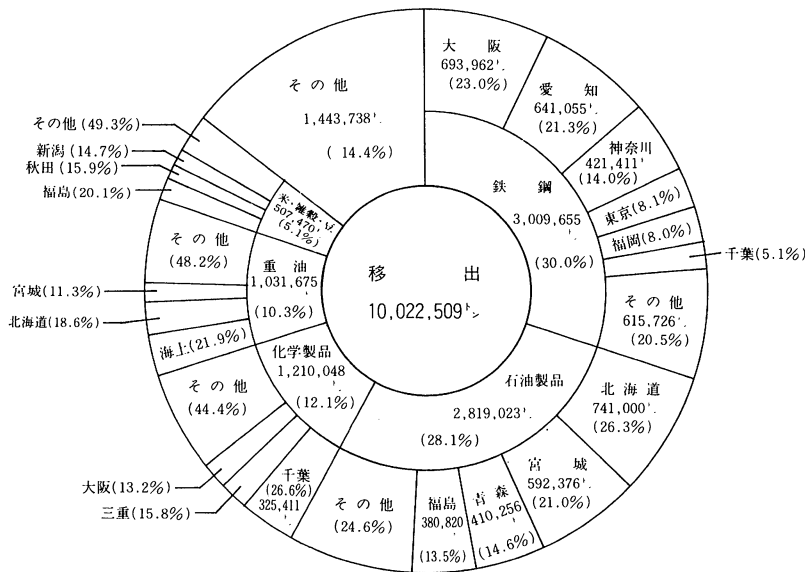




輸入貨物は26,416,094トンで、鉄鉱石37.5%、原油22.8%、石炭19.9%となり、鉱産品だけで全体の84.4%を占める。それ以外では、米・雑穀・豆の6.6%、石油製品5.4%などである。相手国とし

ては、オーストラリア(6,652,958トン)が他の国を2倍以上上回り25.2%を占めた。次いでサウジアラビア、南アフリカ、カナダ、アメリカ、ブラジル、アラブ首長国と百万トン以上の国々がつづく。

図一五 品種別、都道府県別図（移出）

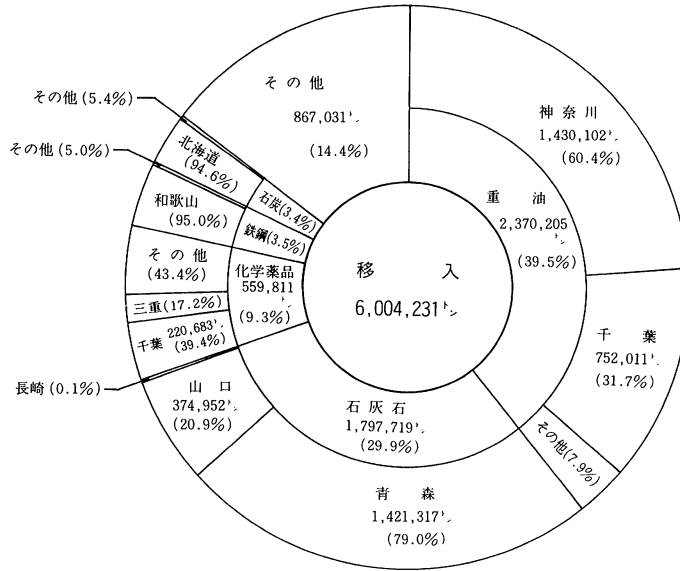


表一五 内国貿易貨物主要品種別表

(単位：千トン、%)

順位	移 出				移 入			
	品 種	貨物量	前年比	構成比	品 種	貨物量	前年比	構成比
	移 出 計	10 023	105	100.0	移 入 計	6 004	95	100.0
1	鉄 鋼	3 010	88	30.0	重 油	2 370	90	39.5
2	石 油 製 品	2 819	114	28.1	石 灰 石	1 798	103	30.0
3	化 学 薬 品	1 211	89	12.1	化 学 薬 品	560	101	9.3
4	重 油	1 032	129	10.3	鉄 鋼	210	91	3.5
5	砂利、砂、石材等	605	241	6.0	石 炭	204	91	3.4
6	米、雑穀、豆	507	97	5.1	その他金属鉱物	189	103	3.2
7	ガラス類	215	235	2.1	石油製品	134	130	2.2
8	コークス	158	210	1.6	その他非金属鉱物	98	144	1.6
9	その他食料工業品	108	100	1.1	染料、塗料、合成樹脂 その他化学工業品	97	125	1.6
10	動植物性製造飼肥料	60	92	0.6	化学肥料	68	133	1.1
	そ の 他	298	88	3.0	そ の 他	276	97	4.6

図一六 品種別、都道府県別（移入）



表一六 外国貿易貨物主要国別表

(単位：千トン，%)

順位	輸 出			輸 入				
	仕 向 国	貨物量	前年比	仕 出 国	貨物量	前年比	構成比	
	輸 出 計	1 963	109	100.0	輸 入 計	26 416	102	100.0
1	ソ 連	404	111	20.6	オーストラリア	6 653	90	25.2
2	中 国	304	156	15.5	サウジアラビア	2 290	96	8.7
3	ア メ リ カ	274	90	14.0	南 ア フ リ カ	2 289	100	8.7
4	台 湾	274	266	14.0	カ ナ ダ	2 072	111	7.8
5	韓 国	204	92	10.4	ア メ リ カ	1 779	94	6.7
6	インドネシア	86	132	4.4	ブ ラ ジ ル	1 770	93	6.7
7	タ イ	52	102	2.6	アラブ首長国	1 602	120	6.1
8	イ ン ド	45	195	2.3	イ ン ド	1 410	117	5.3
9	マレーシア	37	231	1.9	チ リ	982	226	3.7
10	シンガポール	36	77	1.8	インドネシア	978	93	3.7
	そ の 他	247	114	12.5	そ の 他	4 591	127	17.4

(日立港統計年報 から  
鹿島港統計年報 から)